

第2回小中学校の望ましい在り方検討委員会要旨報告

日時 17年9月27日(火)午後7時～午後9時

場所 勝山市教育会館

出席者 検討委員及び事務局員

事務局より報告と説明

1各地区対話集会について

- ・各地区での出席者の主な意見を報告する。
- ・対話集会は、子どもの数が大きく減少している現実を説明すること及び住民の方の意見を聞くことがねらいであった。

2小学校の規模別のメリット・デメリットについて

- ・複式学級、単式学級、1学年複数学級について、一般的なメリット、デメリットを説明する。

3統廃合モデルパターンの作成について

- ・検討委員会での統廃合モデルパターン作成を依頼する。

検討委員の意見

- ・ 地区対話集会に参加したが、危機意識があまり感じられず、参加者は少なかった。
- ・ 若い世代の方が集会や会議に出席できるように工夫して欲しい。世代を限定した説明会を開いても良いのではないか。
- ・ PTAに対して、説明を開いた方が良い。
- ・ 世代によって統廃合に対する考え方が違うのではないか。
- ・ 検討委員会で、統廃合の案を作るべきだ。
- ・ 意向を見るため、アンケート調査をしてみたらどうだろうか。

アンケート調査での小学校統廃合パターン

- ・ 南部・中部・北部の中学校校区による3校方式
- ・ 複式学校解消方式
- ・ 6校4分校方式(平泉寺・三室・野向を分校化)
- ・ 小学校を3校にし、低学年の間だけ現存小学校を分校にして通学する方式。
- ・ 現状維持

(さらにアンケートについて検討することとする。)